

本科 2 期 9 月度

解答

Z会東大進学教室

高 2 東大世界史



14章 市民革命

問題

【1】

解答

問A a. 4 b. 2 c. 4 d. 3 e. 1

問B (ア). 3 (イ). 4 (ウ). 1 (エ). 2 (オ). 4 (カ). 2 (キ). 3 (ク). 4
(ケ). 2 (コ). 3

解説

問A. a. スコットランドへのイギリス国教会強制に対して、スコットランドでは長老派（プレズビテリアン）と呼ばれるカルヴァン派の反乱が発生した。

b. 1642年からチャールズ1世が処刑される1649年までがピューリタン革命の期間である。

c. ロンドンを中心とする地域のこと。

d. オランダの中継貿易に打撃を与える目的で発布したもので、発布翌年の1652年から英蘭（イギリス＝オランダ）戦争が始まった。

e. 人身保護法で法に基づかない逮捕・裁判が禁じられた。

問B. (ア). エリザベス1世の死でテューダー朝が断絶すると、スコットランド王ジェームズ6世がイングランド王を兼ねることとなり、ステュアート朝が始まった。

(イ). ボシュエはフランス王ルイ14世に仕え王権神授説を理論化した。イギリス王チャールズ1世に仕えて王権神授説を唱えた人物としてはフィルマーがいる。

(ウ). ジェントリの多くは名誉職の治安判事として無給でイギリスの地方行政を担った。

(エ). 1534年に首長（国王至上）法によりイギリス国教会を創始したヘンリ8世は、イギリス国内の修道院を解散した。

(オ). クロムウェル率いる議会派の新型軍の活躍で、王党派軍に勝利した戦い。

(カ). 平等（水平）派は小農民・小商人・手工業者などを支持基盤とし、急進的な社会変革を望んだ。一般大衆の政治参加の実現を求めたが、普通選挙は当時としては過激な要求であり、実現しなかった。

(キ). アイルランドは1801年にイギリスに併合され、大ブリテン＝アイルランド連合王国を形成することとなった。その後、アイルランドはシン＝フェイン党を中心に独立運動を継続し、1922年にアイルランド自由国として自治権を獲得した。

(ク). やや難問。チャールズ2世はブレダ宣言において、大半の革命関係者の責任を問わず、革命で没収された王党派の土地財産については議会の決定に従うこと、信仰の自由をある程度認めることなどを宣言し、議会との和解の姿勢を示した。

(ケ). 公職（議員・役人）就任者をイギリス国教徒に限定したこの法律は、1828年に廃止された。

(コ). ロックは名誉革命後に『統治二論（市民政府二論）』を著し、人民に害をなす権力に対しては人民の側に抵抗権があるとの考え方を示して、名誉革命を擁護した。

【2】

解答

問1 61. エ 62. ウ 63. コ

問2 (あ). ウ (い). ア (う). イ (え). エ (お). オ (か). ウ (き). エ

解説

問1. 61・62. アメリカ独立戦争の過程では、3つの戦いが重要である。1775年のレキシントンの戦いで開戦、1777年のサラトガの戦いでアメリカ植民地側は初の大勝を収め、1781年のヨークタウンの戦いで決定的勝利を得た。

63. 1783年のパリ条約でイギリスは北米13植民地の独立と、ミシシッピ川以東のルイジアナをアメリカ合衆国に割譲することを決めた。

問2. (あ). ヴァージニアには北米初の黒人奴隷が移入され、奴隷を用いたタバコのプランテーションが発展した。

(い). 1763年のパリ条約でフランスはイギリスにカナダ・ミシシッピ川以東のルイジアナを割譲した。またスペインにはミシシッピ川以西のルイジアナが割譲され、フランスは北米領土をすべて失った。

(う). 糖蜜はラム酒の原料。フランス領西インド諸島からの輸入に対し、高い関税を課した。

(え). 選択肢の誤りをすべて正すことは受験レベルの知識では不可能であろうが、高校教科書レベルの茶法の内容を記憶していれば正解は導き出せる。つまり選択肢エは茶法に関する必要事項のみが記されている。

(お). 義勇兵としてアメリカ独立戦争に参戦し、ワシントンの副官を務めたヨーロッパ人として、ポーランド人のコシューシコ（コシチューシコ）とフランス人のラ＝ファイエットが有名。前者はその後のポーランド分割でロシア軍と戦ったこと、後者はフランス革命時に人権宣言を起草したことで有名である。

(か). 難問。ジェファソンを支持して集まったグループがリパブリカン党を結成し、合衆国憲法の連邦主義に反対した。

(き). モンロー宣言が1823年であることを記憶していれば正解できる。

【3】

解答

- 問1. ① 問2. ② 問3. ③ 問4. ② 問5. ⑤ 問6. ② 問7. ③
問8. ③ 問9. ④ 問10. ① 問11. ③ 問12. (1)-② (2)-①
問13. ④ 問14. ① 問15. ③ 問16. ② 問17. (1)-⑤ (2)-②
問18. ②

解説

問1. ネッケルは特権身分で税を納めていなかった第一身分（聖職者）・第二身分（貴族）への課税を提言した。

問2. バスティュー牢獄は政治犯が投獄されていたため、圧政の象徴とされた。

問3. フランス革命当初は立憲君主派のミラボーやラ＝ファイエットが国民議会を指導した。

問4. ユグノー戦争の末期に、ヴァロワ朝の断絶を受けて、1589年にブルボン家のアンリが国王となりブルボン朝が開始された。

問5. 1302年に初の三部会を招集して国内意見をまとめたフィリップ4世は1303年に教皇ボニファティウス8世を捕えるアナーニ事件を起こした。

問6. シェイエスは『第三身分とは何か』で「第三身分とはすべてである」とし、国民議会結成の中心的役割を果たした。

問7. ワトーの代表作は「シテール島への船出」である。

問8. 立憲君主派のミラボーが死亡し、共和派の台頭を恐れた国王ルイ16世は、王妃アントワネットの母国オーストリアへの逃亡を企てるが、国境付近のヴァレンヌ村で正体がばれ、国外逃亡は失敗に終わった。

問9～11. フイヤン派は自由主義貴族やブルジョワ層を主体とし、立憲君主政を求めた。ジロンド派とジャコバン派は共和政体を求めるが、ジャコバン派が都市小市民や農民の支持を基盤としたため、商工業ブルジョワを基盤とするジロンド派よりも急進的な社会革命を求めた。

問12. フランス革命の広まりを嫌ったレオポルト2世はプロイセン王と連名でピルニッツ宣言を発し、フランス革命への干渉を示唆した。レオポルト2世やマリ＝アントワネットの母はマリア＝テレジアである。

問13～15. 権力を握ったジャコバン派内部ではロベスピエールと対立した左派のエベール・右派のダントンが処刑された。ギロチンに代表されるジャコバン派の恐怖政治は1794年にロベスピエール自身がギロチンにかけられることで終了した（テルミドールのクーデタ）。

問16. グレゴリ暦（グレゴリウス暦）は16世紀末に教皇グレゴリウス13世が、それまでのユリウス暦に代えて制定したものだ。

問17. 地中海のコルシカ島はナポレオンの生まれる前年（1768）に、ジェノヴァの支配からフランス支配に代わった。(2)の選択肢中の戦いはすべてナポレオン関係の必須事項なので、混同しないよう確実に記憶しておこう。

問18. ダヴィドはフランス古典主義絵画の巨匠で、ナポレオン1世の宮廷画家を務めた人物である。

MEMO

15章 産業革命

問題

【1】

解答

問1. クロンプトン 問2. ③ 問3. ② 問4. ③ 問5. ①
問6. ニューコメン 問7. ③ 問8. ③

解説

問1. ハーグリーヴズのジェニー紡績機（多軸紡績機）と、アークライトの水力紡績機の長所を融合したのがクロンプトンによるミュール紡績機である（ミュール・mule とは本来はラバの意味である）。

問2. ダービー親子が石炭やコークスを用いた製鉄法の改良をしたのは1709年であるが、年号よりもおおまかな時代区分で理解しておこう。18世紀初頭に製鉄法の改良がなされた結果、鉄の増産が可能となった。鉄は機械の原料として不可欠であり、機械を必要とする第1次産業革命を手助けする重要な技術となった。

問3. 大西洋三角貿易とはイギリスから西アフリカに火器・ガラス製品などを運び黒人奴隷と交換し、その奴隷をアメリカ地域へ運び売却して、砂糖や原綿をイギリスへ運んだもの。奴隷貿易（三角貿易）で栄えたりヴァプールの後背地に位置するマンチェスターは安価な原綿を入手することが可能であった。

問4. 答えは③であるが、「なぜ力織機が最も遅く発明された技術なのか」まで理解しておこう。技術革新の過程は、単なる年号や事実の羅列ではなく、なぜそのような順番で発明や改良が進んだのかを把握しながら覚えるとよい。第1次産業革命においては以下のA～Eのとり技術革新が進行した。

- A. ダービーが18世紀初め、新しい製鉄法を発明した。
- B. ジョン＝ケイが飛び杼^{ウチ}を発明した結果、織布効率が上がったため綿糸が不足した。
- C. ハーグリーヴズやアークライト、クロンプトンらが新しい紡績機を発明して綿糸の生産量が急増した結果、織布が追いつかなくなった。
- D. カートライトが蒸気機関を動力とした力織機を発明し、織布速度も上昇した。
- E. ホイットニーが綿花の種子を取り除く綿繰り機を発明し、綿花から綿糸を生産する効率がさらに向上した。

問5. 飛び杼とは横糸を通すための杼が縦糸の間を左右に走る仕組み。飛び杼の発明で織布工程の効率が上がった。これにより綿糸の不足が生じ、紡績工程の機械化が進むことにつながる。問4の解説も参照のこと。

問6. ニューコメンは鉱山での排水ポンプの動力として蒸気機関を発明したが、石炭の消費量が多い割りに熱効率が低いという欠点があった。それを改良したのがワットである。

問7. コークスとは石炭を高熱燃焼した後に残ったもので、無煙で高火力を生み出す。

問8. 最初の鉄道は石炭の積み出しを目的にストックトン～ダーリントン間に敷かれた。このときの蒸気機関車を発明したのはスティーヴンソンである。

【2】

解答

問A a 3 b 3 c 4 d 1 e 2 f 2 g 1 h 4 i 2 j 4

問B (ア) 3 (イ) 3 (ウ) 2 (エ) 1 (オ) 2

解説

問A. a. 15世紀末以降、領主や地主が農民から非合法に土地を接収して牧場にする第1次囲い込みが行われ、羊毛生産が増大した。これに対し、18世紀頃から行われた第2次囲い込みは、穀物の増産を目的として合法的に行われ、産業革命期の人口増加を支えた。

b. イギリスは奴隷貿易を軸として、イギリス本国と西アフリカ、カリブ海域を結ぶ三角貿易によって大きな利益を得た。リヴァプールはロンドンと並ぶ奴隷貿易の中心であり、その近くに位置するマンチェスターを中心に綿工業の技術革新が進められた。

c. 飛び杼は1733年にジョン＝ケイによって発明された。1のジョン＝ヘイは帝国主義時代に中国に対する門戸開放宣言を発したアメリカの国務長官である。

d. ミュール紡績機は1779年にクロンプトンによって発明された。3のクローヴィスは5世紀後半にフランク王国を統一し、アタナシウス派に改宗した人物、4のクロムウェルは17世紀半ばのピューリタン革命を指揮し、共和政を創始した人物である。

e. 力織機の発明は1785年である。飛び杼→ジェニー紡績機→水力紡績機→ミュール紡績機→力織機、という発明の順序は類出なので、発明者の名前とともに暗記しておくこと。

f. 蒸気機関は1769年にワットによって改良された。3のワクフはイスラーム教における義務の1つで「寄進」を意味する。

g・h. 18世紀初頭には、ダービーによってコークスによる製鉄法が開発され、従来使用していた木炭から、大量供給が可能な石炭へと工業用燃料を転換することが可能となり、鉄の生産量が増大した。

i・問B-(オ). スティーヴンソンによって蒸気機関車が改良され、1825年にストックトン～ダーリントン間を開通して以降、鉄道は公共の陸上輸送機関としてイギリスのみならず全世界に普及していった。

j. 蒸気船はアメリカ人のフルトンによって1807年に試作された。1のブルードンは19世紀にすべての政治的権威を否定する無政府主義を唱えた人物、3のフーリエは18世紀後半～19世紀前半にかけて労働者階級の保護を唱えた空想的社会主義者である。

問B. (ア). フランドル地方は、中世以来、毛織物工業で繁栄した地域であり、イギリスとフランスはその領有をめぐる百年戦争を起こした。

(イ). エリザベス1世は1600年に東インド会社を設立し、積極的な海外進出を行った。

(ウ). ハーグリーヴズが1764年頃に発明した多軸紡績機は、ジェニー紡績機と呼ばれる。

(エ). 綿織り機はホイットニーによって発明された。2のホイットマンは詩集『草の葉』などを著した19世紀のアメリカ文学者である。

16章 ナポレオン・ウィーン体制

問題

【1】

解答

問 a 正統主義

問 b (1) オーストリア (2) プロイセン (3) ロシア (4) イギリス
(5) フランクフルト (6) ナポリ

問 c イ. 1866年 (1867年) ロ. 七月革命 問 d アレクサンドル1世

解説

問 a. ウィーン体制は正統主義と勢力均衡が基調となっている。

問 b. ウィーン議定書により各国の領土がどのように変更されたかが問われている。ここではウィーン議定書の主な内容を10項目に整理しており、その中の6つの国名が空欄となっている。国名は複数回出てくるものもあるので、見落とさないように注意深く問題文を読んでいこう。

(1). この国が関係する項目は1, 5, 8である。この国が放棄したネーデルラントとは現在のベルギーに当たる。オランダはこの地を併合してオランダ立憲王国 (ネーデルラント王国) を形成するわけだが、ここはオーストリア=ハプスブルク家の領土であった。オーストリアはウィーン体制下のドイツ連邦の盟主でもあるので、(1)にはオーストリアが当てはまることになる。

(2). 地理的に「ワルシャワ大公国」および「ザクセン」「ライン中流地方」に接する国家で、ウィーン議定書により領土を拡張したのはプロイセンである。

(3). ウィーン議定書により成立したポーランド立憲王国は、ポーランド人の国民国家ではなく、ロシア皇帝を王とするロシアの傀儡国家であった。因みに国民国家ポーランドが正式に独立するのは、第一次世界大戦後のことである。

(4). イギリスはウィーン議定書によって、オランダからセイロン島 (スリランカ) およびケープ植民地を獲得し、さらに戦時中から占領していた地中海のマルタ島をも獲得している。

(5). やや難。ドイツ連邦は35の君主国と4自由市で構成されたが、連邦議会が設置されたのは4つの自由市 (リューベック・ブレーメン・フランクフルト・ハンブルク) のうちの1つ、フランクフルトである。プロイセンの首都ベルリンと間違えないこと。

(6). ウィーン議定書で、正統主義の原則により革命前のブルボン家が復活したのは、フランス、スペイン、ナポリにおいてであるが、そのうちイタリアに存在した国家はナポリである。

問 c. イ. 1866年のプロイセン=オーストリア (普墺) 戦争でプロイセンが勝利すると、ドイツ統一におけるプロイセンの覇権は決定的となり、翌67年にプロイセン主導の北ドイツ連邦が結成される一方で、ドイツ統一からつまはじきにされたオーストリアはハンガリーに自治権を与えてオーストリア=ハンガリー帝国を形成した。以上のストーリーを押さえた上で、ドイツ連邦解体の具体的な年号を見てみると、これがどの時点をドイツ連邦解体と見るかで諸

説があるようで、プロイセン＝オーストリア（普墺）戦争の結果の1866年とする説と、北ドイツ連邦結成の67年とする説がある。一般的な正答としては1866年となるが、67年でも間違いとはいえないので別解とした。

ロ. 1830年にベルギーはオランダから独立し、立憲君主政の王国となるが、これはフランスで起こった七月革命の影響を受けている。この年、ベルギーのほかにもフランス七月革命の影響からヨーロッパ各地でウィーン体制への蜂起が相次いだ。ポーランド反乱（ワルシャワ蜂起）、イタリアのカルボナリ党の反乱などがそれであるが、この2つはいずれもウィーン体制を堅持するロシアやオーストリアによって鎮圧された。よって解答として挙げるのに最も適当なのは（フランス）七月革命となる。

問d. 神聖同盟はキリスト教に基づく友愛精神を軸にロシアのアレクサンドル1世が提唱したものである。アレクサンドル1世と神聖同盟の関係はよく問われるので注意しておくこと。



会員番号	
------	--

氏名	
----	--